
SA協議会

2013年度 東京スキルアップミーティング

(2013年8月30日開催)

報告

SA協議会

2013-10-7

WG; 大賀、佐川、高岡、富田、津野、
藤井、吉川、西山、外山

報告項目

1. 概略計画(WGメンバーにて計画運営を実施)

東京会場

2. 参加者

3. 当日の内容報告

東京会場

4. アンケート結果

5. 懇親会

* 講演資料は別PDFファイルを参照

1. スキルアップミーティング概略計画(東京会場)

開催概要(各会場の詳細は次ページ以降を参照ください)

【東京会場】

- 開催日時：平成25年8月30日(金) 13時10分～17時00分
- 開催内容：講演とパネルディスカッション
- 開催場所：明治大学駿河台キャンパス紫紺館3階会議室
- 定員：50名様
- 参加費：無料
- 懇親会費：4,500円(予定) ※懇親会へのご参加は任意です。
- 申込締切日：平成25年8月5日(月)着

【プログラム】

受付:12:45 開始

開会:13:10

終了:17:00 頃予定

懇親会:17:30～19:30

【開催内容】

- ・会長挨拶及び基調講演 向殿 政男 明治大学名誉教授
- ・第一部 講演
『機械安全関連法規/規格類とリスクアセスメント』
講師：セーフティクラフト代表 水野 恒夫 氏
- ・第二部 パネルディスカッション、パネルディスカッション
テーマ「機械の危険情報の提供に対する組織での取り組み」
コーディネータ：有人宇宙システム株式会社 大賀 公二 氏

2. 参加者結果

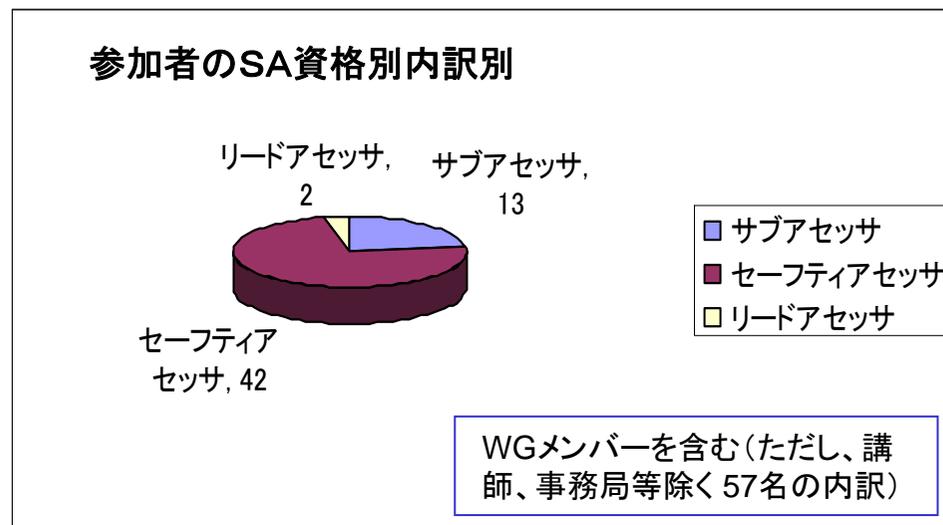
参加希望者

東京 53名 (WG除く)

当日参加者

東京 49名 + WG (13名) + オブザーバ1名

(懇親会参加者 20名)



3. 内容報告

東京会場

【プログラム】 13:10～17:00 司会;佐川氏

- 13:10 会長挨拶及び基調講演「危険情報のPDCAサイクル」
向殿 政男 明治大学名誉教授(SA協議会会長)
- 13:45 第一部 講演
『機械安全関連法規/規格類とリスクアセスメント』
講師: セーフティクラフト代表 水野 恒夫 氏
- 15:15 第二部 パネルディスカッション、パネルディスカッション
テーマ「機械の危険情報の提供に対する組織での取り組み」
コーディネータ;大賀 公二 氏
パネラー;畑 氏、青野 氏、西山 氏、石坂 氏
- 17:10 講評、閉会、終了

【懇親会】

場所;「咲くら」御茶ノ水店

時間;17:30～19:30

3. 内容報告

(1) 挨拶及び基調講演 SA 協議会会長 明治大学名誉教授 向殿 政男先生

- SAが活躍する環境が増加している。このような場でスキルアップしてください、との期待と激励の挨拶があった。
- ご講演「危険情報のPDCAサイクル」とのテーマで以下のポイントでの講演があった。
 - ・安全の基本的な概念
 - ・残留リスクの決め方
 - ・厚生労働省の対応
 - ・循環する危険情報(講演資料は、SA協議会掲示板に掲示予定)



3. 内容報告

(2) 講演 『機械安全関連法規/規格類とリスクアセスメント』

講師：セーフティクラフト代表 水野 恒夫 氏

水野氏より以下の講演があった。

- 産業機械製品にかかわる各種安全規制とその限界
- 残留リスク情報と安衛則24条改定(H. 24年)
- 機械メーカー、ユーザのリスクアセスメントの現状
- 今後の展望と課題

(講演資料は、SA協議会掲示板に掲示予定)



3. 内容報告

(3) - 1 パネルディスカッション

テーマ「機械の危険情報の提供に対する組織での取り組み」で、各パネラーからのプレゼンテーションをしていただき、その後、ディスカッションを実施した。

畑 幸男 様 (コマツ産機株式会社)、 青野 竜二 様 (東芝機械株式会社)
西山 久司 様 (旭硝子株式会社)、 石坂 和雄 様 (株式会社ブリヂストン)
パネラーとして講演いただいた、向殿先生、水野氏にも参加していただいた。

左から

パネラー；
向殿先生、水野氏、
西山氏、石坂氏、
青野氏、畑氏

コーディネータ；
大賀氏



3. 内容報告

(3) - 2 各パネラーからのプレゼンテーション (講演資料は、可能な場合は、掲示板に掲載予定)



畑氏(右)のプレゼンテーション



青野氏(右)のプレゼンテーション



石坂氏(左)のプレゼンテーション



西山氏(左)のプレゼンテーション

3. 内容報告

(3) - 3 パネルディスカッションの実施



真剣にディスカッションが進む。以下のポイントで議論した。

- ① 「改正労働安全衛生規則第24条の13」に対するメーカー、ユーザーでの取り組み
- ② 「機械に関する危険情報の通知」に対する課題
- ③ 機械災害の減少に有効なリスクアセスメントのあり方
- ④ 「セーフティアセッサ」の役割

終了時、コーディネータの大賀氏より総括があった

- ① 「残留リスク情報」を作ることが目的ではなく、機械災害低減のために、適切なリスクアセスメントをすることである
- ② メーカー/ユーザー間での良好なリスクコミュニケーションを構築することが重要
- ③ そのために、各組織での安全文化の構築が必要
- ④ SAの役割は、確実なリスクアセスメントの実施、リスクコミュニケーションを図るうえで、今後ますます重要になってくる



3. 内容報告

(4) 講評及び総評

- 経済産業省商務情報政策局情報通信機器課
課長補佐 山浦 崇 様より講評があった。



- ・過去の体験を通して安全の話をして安全の重要性を今日のミーティングで確認できた
- ・今後は安全技術の普及について何かしらのお役に立ちたいと考えている
- ・今後のSAに対する期待の言葉をいただきました

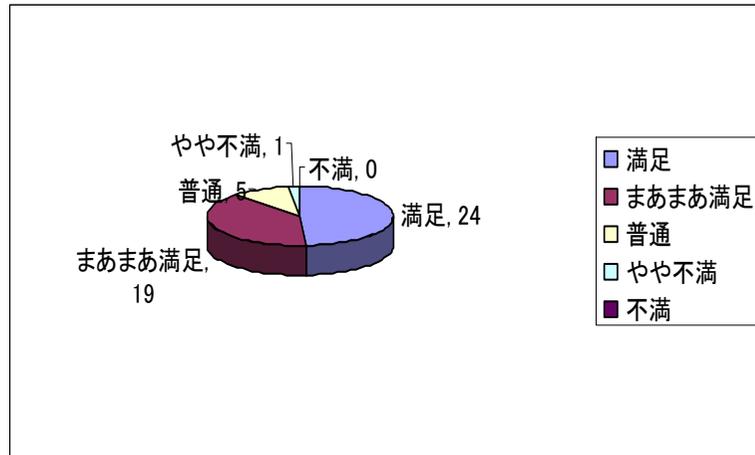
- 最後にSA協議会会長向殿先生から総評をいただいた。

- ・今回のミーティングは、“良かった”と思います
- ・パネルディスカッションは、みなさんの発言が少なかったように思いますが、グループ形式であればもう少し議論が多く出されたのではないかと思います
- ・SAの地位向上のため頑張りましょうとの激励のお言葉をいただいた

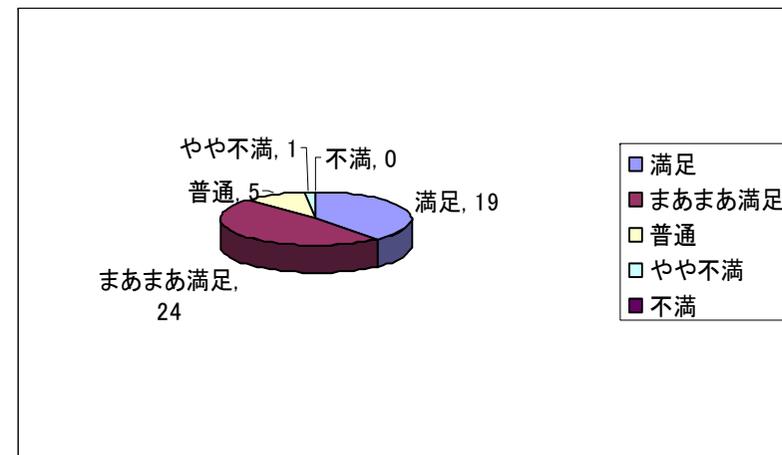


4. アンケート結果(49名から回収)

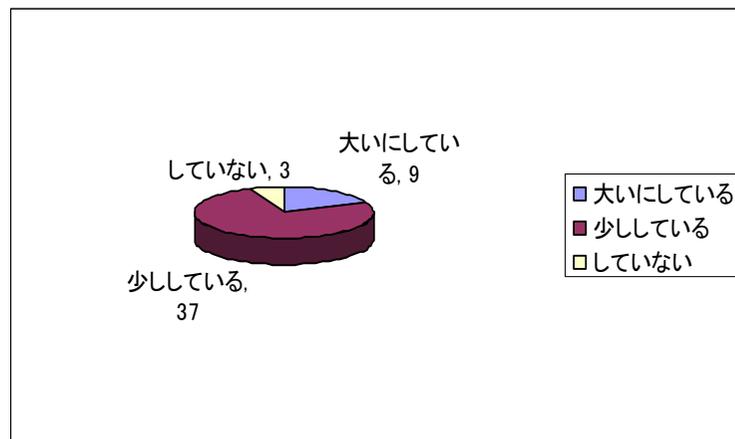
① 本日の講演についての感想は



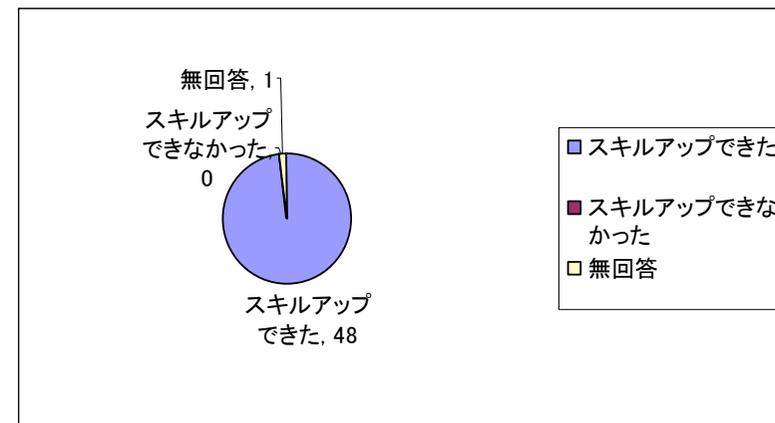
② 本日のグループ/パネル討議についての感想は



③ 社内外での安全活動



④ 参加してスキルアップできましたか?



5. 纏め

大変に有意義なミーティングが開催されました。

- ① 講演は、
 - －安衛則全体像の説明、安衛則24条の改定の背景とリスクアセスメントとの関わり合いとその重要性を認識できた。
 - －テーマについては、タイムリーな企画で好評であった。

- ② パネルディスカッションでは、
 - －パネル登壇者の各企業の取り組み、苦労などの説明と、それに対する討議がなされて参加者に対して示唆ある情報を提供できた。
 - アンケートからも、今後の自社(参加者)での目指すべき道筋が確認できた、との意見有。
 - －ディスカッションの時間が短いとの意見も多く、講演とパネルディスカッションの配分とミーティング全体の時間を多くする等については、今後の検討課題とした。
 - －討議の時間をもっとほしいとの意見もあり。ただし、参加者からの積極的な意見が吸収できなかったこともありそのような雰囲気づくりが、今後の課題。

- ③ 懇親会では、
 - －日頃は安全について語り合える人が少なく、大勢で議論できるのは楽しいとの意見があり、今後も継続していきたい。
 - －懇親会でも安全について活発な話で盛り上がり、非常に充実した1日を締めくくることが出来た。
 - －また、スキルアップミーティングの今後の発展についても参加者から積極的な意見もあった。

向殿先生を囲んでの交流会

最後に、向殿先生を囲んでの懇親会を実施しました。希望者20名(当初23名予定)。

日ごろからの安全に対する意見をフランクに交換することができました。

また、次回のスキルアップミーティングをよりよいものにしていきましょうと合意しました。

